

## 令和4年第3回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	14	中鉢和二郎	<p>1 六角牧場に建設予定の風力発電所について</p> <p>(1) 大崎市として、建設に賛成か反対か、伺う。 併せて、その判断の根拠を伺う。 もし、現時点で賛否についての明確な意思を持ち合わせていないとすれば、どのタイミングで賛否を明確にするつもりか、伺う</p> <p>2 名蓋川、大江川の洪水対策について</p> <p>(1) 7月15日から16日の大雨により市内各地で甚大な洪水被害を被った。 その中でも名蓋川は、7年間で3回目となる破堤、越水を伴う氾濫となった。また大江川は、これまでも大雨の度に溢水を繰り返しているが、その中でも今回は特に甚大で、多くの住家等に被害を及ぼした。 再発防止には、抜本的な洪水対策が必要と考える。 大崎市として、河川管理者に対し、どのような対策を求めていくのか、所見を伺う</p> <p>3 公金管理について</p> <p>(1) 令和4年7月11日、庁舎内で保管していた公金102万円が紛失していることが発覚した。 今回の事案は、行政組織内のセキュリティリスクに対する認識の低さが深く関係しているものと考ええる。 そのような視点で点検すると、今回の金庫以外にも多くの問題点が見つかるものと考えられる。 組織として、今回の事案から何を学び、どのような対策、対処を実施したか、伺う。 また、再発防止のため、職員の意識改革は必須だが、仕組み（業務標準やシステム）としてセキュリティリスクに対する取組を高めることが肝要と考えるが、所見を伺う</p>
2	24	木内知子	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新規感染者が増加の方向にある中で感染防止につながる方策として、木下グループ及び民間検査所での無料検査の9月30日までの延長を市のウェブサイトだけでなく、分かりやすい方法で市民に周知を図るべきではないのか</p> <p>(2) 陽性者の自宅療養での手だてとして、買い物に行けない状況の方への対応は徹底されているのか</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店等の経営破綻や生活困窮者の皆さんが生活破綻に陥らないようなさらなる支援策を講ずるべきと考えるがいかがか</p> <p>2 大雨による災害対応について</p> <p>(1) 情報発信の徹底について</p> <p>(2) 松山地域の指定避難所誘導路の安全確保について</p> <p>(3) 松山地域、鹿島台地域の常襲冠水地区の抜本的な水害対策について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
3	9	伊勢健一	<p>3 高齢者への補聴器購入支援について</p> <p>(1) 高齢者の皆さんの難聴から認知症への進行を早期に食い止めるために、国や専門機関の研究成果を積極的に取り入れ、補聴器購入支援につなげるべきではないか</p> <p>(2) 総合検診時の聴覚検査導入実現に向けて、時間をかけずに進められないか</p> <p>1 アフターコロナを見据えた観光政策について</p> <p>(1) 本市に関連のある「日本刀」文化を中心として文化庁の日本遺産として申請し観光の起爆剤とすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 本市にゆかりのある「剣豪千葉周作」や岩出山地域で盛んななぎなたなどを契機として「武道ツーリズム」による「まちづくり」を推進すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) インバウンド再開に向けた本市の戦略について所見を伺う</p> <p>2 孤独・孤立対策について</p> <p>(1) 本市における孤独・孤立対策の現状について所見を伺う</p> <p>(2) 今後の孤独・孤立対策の考え方について所見を伺う</p> <p>3 学校跡地の利活用について</p> <p>(1) 学校跡地の利活用に向けた本市の取組について所見を伺う</p> <p>(2) 学校跡地の地域の利用状況と今後の展開について所見を伺う</p> <p>4 建設行政について</p> <p>(1) 国道4号（竹の花以北）4車線化の今後について</p> <p>(2) 古川地域小林下行政区の市道の舗装整備について</p>
4	20	只野直悦	<p>1 豊かな自然環境の保全について</p> <p>(1) 鳴子温泉地域に計画されている4つの風力発電事業に対して、本市の対応と考えるについて</p> <p>ア 再生可能エネルギー導入に対する本市の基本的な考えについて</p> <p>イ 風力発電事業計画の経過に対する認識について</p> <p>ウ 発電事業に対して不安を抱く地域住民も多い。本市の対応と事業者へ求めるものは何か</p> <p>(2) 六角牧場風力発電事業に対する本市の考えについて</p> <p>ア 各種団体や専門家から事業に対して中止を求める要望などが提出されている。市民の声をどう捉えているのか、伺う</p> <p>イ 令和3年3月に策定した大崎市景観計画との関連性について所見を伺う</p> <p>ウ 第2次大崎市総合計画後期基本計画の第1節に豊かな自然環境の保全とある。国民保養温泉地と2つのラムサール条約登録湿地のある本市として、風力</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
5	6	法華栄喜	<p>発電計画に対する方針をまとめる時期にきていると思うが、所見を伺う</p> <p>1 地域づくりの活動拠点の在り方について</p> <p>(1) 活動拠点となる地区公民館を有する地域と有さない地域（旧志田郡3地域）との地域づくりにおける違いをどのように分析、検証しているのか伺う</p> <p>(2) 旧志田郡3地域に対する活動拠点、人的支援、財政支援をどのように考えているのか伺う</p> <p>2 大崎市民会館の利活用について</p> <p>(1) 音楽の聞こえる都市（まち）づくりを掲げる大崎市として芸術や芸能が身近に感じられない。自主事業の開催を増やすなど、芸術鑑賞機会の拡充をすべきではないか</p> <p>(2) 大崎市民会館の建築物としての価値をもっと活用すべきではないか。（中央公民館跡地の活用や、建物がしっかり見えるような周辺環境の整備、拡充など）</p>
6	25	小沢和悦	<p>1 ロシアによるウクライナ侵略、「核の威嚇」など重大な危機に際し、大崎市の市長としてできる取組について</p> <p>(1) ロシアによる侵略戦争、「核の威嚇」は国連憲章や国際法に違反する犯罪行為であり、絶対許されない。やめさせるための行動を起こしているか</p> <p>(2) 広島、長崎両市の市長が、政府に核兵器禁止条約への署名を求め、839 地方自治体の議会（48.8%）が、政府に意見書を提出している。大崎市長として政府と国会に対し、唯一の被爆国として、同条約への署名と批准をし、核兵器廃絶に向けた外交努力を求めているかがか</p> <p>2 「学校給食無償化」に向けた取組について</p> <p>(1) 「無償化が必要」という認識の有無</p> <p>(2) 財源との関係で、保護者負担の「段階的軽減」でスタートすることについて</p> <p>3 地元企業等の「人材難」への大崎市としての対策について</p> <p>(1) 宮城県立大崎高等技術専門校の統廃合による市内企業への影響についての認識、及びそのことによる「存亡の危機」にある業界の人材確保への支援が必要と思うかがか</p> <p>(2) 人材確保の有力な手段としての「奨学金返還支援制度」実現の見通しについて</p> <p>(3) 中高校生の現場体験機会の場づくりについて</p> <p>4 生活困窮、その他市民の悩みに応えられる市役所の機構及び体制について</p> <p>(1) 関係所管課の情報共有の必要性</p> <p>(2) 新庁舎における生活困窮、その他市民の困りごと相談の受け入れ態勢</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	4	山田匡身	<p>1 地域活性化策について</p> <p>(1) 鹿島台駅東土地区画整理事業の方向性について</p> <p>(2) 公民館を活用した市民型の賑わい活性化策について</p> <p>(3) 食の発信となる魅力ある街づくりについて</p> <p>2 鹿島台地域の治水対策について</p> <p>(1) 内水氾濫が発生する姥ヶ沢地区の今後の方針、対策について</p> <p>(2) 学識者、経験者の知見を取り入れ早急に整備することについて</p> <p>(3) 山王江排水路の現状と方向性について新たに整備計画を立て、事業着手することについて</p> <p>3 教育行政について</p> <p>(1) 図書館をもっと身近にするために電子図書の導入について</p> <p>(2) eスポーツの普及、推進の考えについて</p> <p>(3) 不登校児童生徒が安心して住める社会への考えと取組について</p>
8	10	鹿野良太	<p>1 古川西部地区（西中学区）の災害対策について</p> <p>(1) 二度と住宅に被害を出さない名蓋川となるよう、整備内容等宮城県との調整状況について伺う</p> <p>(2) 地区内を流れる河川（特に多田川、渋井川、渋川、旧渋川）に対する住民の不安をどのように解消していくのか、伺う</p> <p>(3) 行政区を越えた現実的な避難の在り方について伺う</p> <p>2 陸羽東線沿線の地域活性化について</p> <p>(1) 沿線地域の活性化が必要だが、沿線地域への支援の必要性について伺う</p> <p>3 令和の日本型学校教育の構築について</p> <p>(1) 本市教育委員会の取組状況を伺う</p> <p>(2) 学習履歴（スタディ・ログ）の活用について伺う</p> <p>(3) ICT活用教育アドバイザーの活用について伺う</p> <p>4 古川西小中学校開校に向けての課題について</p> <p>(1) スクールバス運行における課題と乗車対象者の範囲を伺う</p> <p>(2) 地域や地区公民館との連携における課題を伺う</p> <p>(3) ハード整備状況と老朽化している既存校舎の整備状況を伺う</p>
9	16	鎌内つぎ子	<p>1 今回の大雨被害について</p> <p>(1) 本市が「激甚災害」に指定される見通しについて</p> <p>(2) 県管理河川の名蓋川は7年間で3回も決壊しており、被害の一切の補償を県が行うべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 内水被害の抜本対策について</p> <p>ア 水田地帯であった旧荒雄村が広大な住宅街に変貌する中で冠水問題は地域課題となっている。その解</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	1	藤本勘寿	<p>消のため李塚東部中島排水樋門のところに新江合川に強制排水できる排水機場を設置することについて</p> <p>(4) 田んぼダムの取組強化について</p> <p>(5) 農業作物への被害対策について</p> <p>(6) 県の大江川の掘削と整備に向けた県への要望について</p> <p>(7) 床上浸水被害への対応について</p> <p>2 子育て世帯に選ばれるまちについて</p> <p>(1) 結婚新生活支援事業について</p> <p>(2) 出産の祝い金等について</p> <p>(3) 多子世帯への支援について</p> <p>1 企業誘致について</p> <p>(1) 企業誘致への取組について、最近での取組実績と、これまで行った情報収集の成果を伺う</p> <p>(2) 企業誘致を進めるに当たり、本市として企業側に提示できるインセンティブをどう想定するか、所見を伺う</p> <p>2 教育機関の誘致、設立について</p> <p>(1) 大学、専門学校、高等専門学校等の教育機関誘致への取組について、最近での取組実績を伺う</p> <p>(2) 特に農業、工業、医療分野の専門人材育成と確保のために、教育機関の設立も選択肢と考えるが、所見を伺う</p> <p>3 市役所内の就業体制について</p> <p>(1) 直近での離職率とその主な理由をどう捉えるか、またそれに対する対策について伺う</p> <p>(2) 市役所内の10代から30代の若手職員のモチベーション向上に向けた取組について伺う</p>
11	23	氏家善男	<p>1 名蓋川氾濫の要因と今後の対策について</p> <p>(1) 県管理の河川ではあるが度重なる水害に対し抜本的な対策を講じる必要がある。市として氾濫した要因をどのように捉え、また、早急な今後の対策についてどのように考えているか、所見を伺う</p> <p>(2) 合流する多田川に名蓋川がせき止められる状況が考えられる。多田川の流れをよくすることも重要と考えるが、見解を伺う</p> <p>2 災害復旧事業の件数と復旧事業の見通しについて</p> <p>(1) 災害箇所数が多く予想されるが復旧事業への影響と見通しについて伺う</p> <p>3 防災行政無線の検証について</p> <p>(1) 集中豪雨時では全く防災行政無線からの避難情報などが聞こえず屋外拡声子局だけでの情報の伝達には限界がある。戸別受信機の導入を検討すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>4 指定避難所の地域要望について</p> <p>(1) 西古川地区での議会報告・意見交換会において加美</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>町の避難所が利用できないかとの意見があった。1市4町での広域行政事務組合の事業の所掌事務に災害時の避難について加えることを要望すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 真山地区の指定避難所は旧真山小学校となっており、地域要望として真山地区公民館を望む声が多いが、所見を伺う</p> <p>5 森林伐採が進む民有林の再生について</p> <p>(1) 民有林(杉)の伐採が進んでいるが再び植樹する農家は少ない。植樹時からの刈り払いや間伐などの経費及び材価の低迷に加え高齢化などの課題がある中で、広葉樹(クヌギやナラ)の植林を進めて里山の保全を計るべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 事業推進に当たり森林環境譲与税を充てる考えについて</p>
12	13	佐藤弘樹	<p>1 ウェブを活用した市政情報発信及び広報の在り方について</p> <p>(1) 市政情報発信及び広報の在り方</p> <p>2 鹿島台地域における内水、浸水対策について</p> <p>(1) 姥ヶ沢地区内に地下貯水槽を整備する考え</p> <p>(2) 上志田地区への浸水を防ぐため県道146号の当該区間を嵩上げする考え</p>
13	2	小嶋匡晴	<p>1 富山県黒部市との姉妹都市交流について</p> <p>(1) これまでの黒部市との姉妹都市交流の経過について</p> <p>(2) 今後の黒部市との姉妹都市交流の方向性について</p> <p>2 高齢者のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)向上について</p> <p>(1) 本市における高齢者のQOL向上に向けた具体的な取組内容について</p> <p>(2) 高齢者のQOL向上のため、理容助成制度を創設する考えについて</p> <p>3 鳴子温泉郷再生・高付加価値化事業について</p> <p>(1) 事業の現状と経過について</p> <p>(2) 事業の今後の見通しについて</p> <p>4 新型コロナ対策支援について</p> <p>(1) 新型コロナ対策における障がい児者に対する支援体制について</p>
14	19	遊佐辰雄	<p>1 大型風力発電計画の中止、見直しを求めることについて</p> <p>(1) 市長は川崎蔵王山麓の風力発電計画が撤退に至った経緯、結果をどう認識しているか</p> <p>(2) 自然豊かな鳴子温泉郷、栗駒国定公園、世界農業遺産認定地でもある大崎地域に計画されている大型の風力発電事業計画は、自然環境を破壊し、騒音、低周波による健康被害、土砂災害の危険、景観の悪化、渡</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	18	横山悦子	<p>り鳥への影響、放射能汚染を拡散など多くの問題がある。市の条例に照らし合わせても、調和は不可能であり、中止、見直ししかない。県や国に対し明確に反対、中止を求めるべきではないか</p> <p>2 物価高騰に対する支援策について</p> <p>(1) 肥料、飼料高騰による農家への支援として、国の7割補填では不十分である。要件の緩和や申請手続きの簡素化など市独自の支援策を講じるべきではないか</p> <p>(2) 生活困窮世帯や子育て世帯へのさらなる支援策として、光熱費等への助成と一律定額支給をするべきではないか</p> <p>1 7・15大雨の被災者支援について</p> <p>(1) 矢目揚排水機場と止水壁の復旧作業について</p> <p>(2) 災害時の緊急放送に必要な戸別受信機を全戸に配布することについて</p> <p>(3) 農家の営農継続に対する支援について</p> <p>(4) 災害弱者の命を守る個別避難計画の作成について</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) 3歳児屈折検査の実施について</p> <p>(2) 新生児聴覚検査の実施について</p> <p>(3) リトルベビーハンドブックの作成について</p> <p>3 医療的ケア児者の支援について</p> <p>(1) 放課後デイサービス、ショートステイの実施について</p> <p>(2) 医療的ケア児が18歳を超えた後の支援について</p> <p>4 帯状疱疹予防について</p> <p>(1) 帯状疱疹予防のためのワクチン接種の啓発について</p> <p>(2) 帯状疱疹ワクチン接種の補助について</p>
16	7	石田政博	<p>1 市民協働と人財育成の必要性について</p> <p>(1) 住民自治組織も合併後、各々の地域で地域づくりや活性化に取り組んできていたが、閉塞感が漂い始めている気がする。市長の期待する市民協働の形になっているのかどうか率直な考えを伺う</p> <p>(2) 途中から旧志田郡を除き、地区公民館の指定管理を任せただけだがこちらの管轄は教育委員会になっており、協定を結んだ旧志田郡以外の地域におけるメリット、デメリットの検証は執行部でなされているのか伺う</p> <p>(3) 同様に民間委託や指定管理をすることで、行政職員の業務軽減に結びついているのか、行政改革の目指すところは見えているのか、考えを伺う</p> <p>2 令和元年施行の「大崎市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」について3年経過した現在の施策の推進状況について</p> <p>(1) 所属会派（創新会）の視察研修で石狩市、常任委員会の視察で入間市の「手話言語条例」での取組を調査</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
17	15	相澤久義	<p>したところ、本市での同様の取組の進捗と今後の展望について確認が必要と考え、市長の展望を伺う</p> <p>(2) 本市のコミュニケーション条例について、包括する範囲が広く障がいの皆さんをカバーできるものと思うが、焦点が定め難く対応する担当も進め方に苦慮するかと思うことから、まずは、先進地に倣い手話言語に絞って策を進めてはいかがかと提案するが、市長の見解を伺う</p> <p>(3) 具体的に、私の所感だが簡単な作業からでも、聾啞者の皆さんに助力できそうな事例として、小樽市では庁舎のトイレの面前に今月の簡単な手話のイラストが貼ってあった。入間市では挨拶の仕方のような漫画のパンフレットがあり、また、月次の広報で一コマずつの手話イラストを掲載しているそうである。 このような、さほど経費のかからない取組について、手をつけてみてはいかがかと思うが、市長の見解を伺う</p> <p>3 災害対応で体感し気づいた点について</p> <p>(1) 避難所設営時の基本作業のマニュアル化について、当然既に規定されているかと思うが、感染症下までは想定外であったかと思うので、この際に再議論し万全を期すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 市民の皆様から、この度の7月豪雨の折に様々な御相談を承った。勉強不足を、執行部、会派先輩の御助言である程度対応してきたが、市としては初めてのことでないもので、連絡先等、場面場面で想定問答でき得る経験の蓄積があるかと思うので、この際危機管理対応マニュアル（より具体的な場面を想定した連絡、相談先等）、小冊子のようなものを市民に配布できないか、伺う</p> <p>1 持続可能な行政区運営の実現に向けて</p> <p>(1) 地域の活性化は、家庭から、隣組、若者が活躍の場があり、行政区（コミュニティー）を盛り上げることで、地域が活性化し、ひいては大崎市の活性化につながるものと確信している。 しかし、古川地域の一部の地区（行政区）を除けば、すべての地区（行政区）は、少子高齢化、人口減少による近年稀薄化した地域、地区コミュニティーになっている。さらに追い打ちをかけるようコロナ禍によりここ3年、地域、地区（行政区）イベント、行事の中止により、さらなる低下、衰退が懸念される。 今こそ、各地区（行政区）活性化策を講じなければならないと思うが、大崎市の行政区へ支援、活性化策の考えを伺う</p> <p>2 三本木庁舎改修後の貸付について</p> <p>(1) 賃貸料とその充当先は</p> <p>(2) 賃貸料を市内行政区（コミュニティー）活性化のため</p>



発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
18	5	加川康子	<p>め、各地域地区の行政区長会へ配分できないか</p> <p>3 持続可能な農業（生産資材高騰対策）について</p> <p>(1) 昨年の米価の下落に加え今年産の米価も期待できない。肥料、農薬、燃料等が高騰し肥料、農薬は昨年より 70%高の中で野菜などの生産価格は安値で推移していると聞く。離農を考える生産農家もいる。価格補償を収入保険（農業共済）でとのことだが、収入保険加入生産者はいろいろな制約があり大崎市内で約4割と聞く。以上を踏まえ、生産資材高騰対策について伺う</p> <p>4 堅堀、長堀川早期整備について</p> <p>(1) 名蓋川の決壊により猪狩、北谷地地区が床上浸水し堅堀、長堀川の越水により三本木高柳地区の道路冠水、通行止めによる孤立が生じたことを踏まえ、以下について伺う</p> <p>ア 堅堀堤防の整備と高倉排水機場の増設について</p> <p>イ 長堀川の整備と三本木排水機場の増設について</p> <p>ウ 加美町街地や基盤整備された圃場の排水が堅堀や名蓋川に集中したが、加美町との田んぼダムの推進、強化対策について</p> <p>1 児童生徒の引渡しなどの条件の事前周知について</p> <p>(1) 先般7月の豪雨災害など、大雨、河川の氾濫など全国的にも様々な災害が発生している中、児童生徒の安全確保のため、登下校の基準（引渡しなど）を学校、保護者とで情報共有、再確認する必要があると考える。この観点から、以下を問う</p> <p>ア 登下校の基準について、保護者への事前周知の現状は</p> <p>イ 引渡し、一斉下校など、状況に応じて保護者に連絡は来ているが、学校からの連絡を保護者が事情により即時に見ることが難しい状況もある。 悪天候等が予測できる範囲内で、保護者も引渡しなどの準備に早めに取りかけられるよう、各学校の登下校の基準等を学校ホームページに掲載し、随時、保護者が基準を確認できる状況にできないか</p> <p>ウ 基準の見直しはいつ、どのように行われているか</p> <p>2 コロナ禍における児童生徒の学びの機会確保について</p> <p>(1) 児童生徒が濃厚接触者となり、自宅待機のため出席停止した場合、その間の当該児童生徒への学習をどのように補完しているのか</p> <p>(2) オンライン授業、タブレット端末の活用状況は</p> <p>(3) 放課後に学習支援員を配置し、児童生徒への学びの補完を行ってはどうか</p>
19	26	佐藤 勝	<p>1 地域振興拠点施設の整備について</p> <p>(1) 岩手県の先進地視察研修から学ぶべきことは、また</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
20	17	木村和彦	<p>大崎市が参考にすべき点は</p> <p>(2) 地域の活性化と持続性のある農業を目指すため、行政が求める整備の在り方と整備の流れについて</p> <p>(3) 事業主体が行政で、運営主体は民間とすれば、具現化の道筋と可能性について</p> <p>(4) 関係住民の関与と主体性確保のためどう協議を進め意識の醸成を図ろうと考えているか</p> <p>(5) 関係住民との協議には、J A組織との連携、共有をどう考えているか</p> <p>(6) 北の玄関口エリアと工業団地構想との関係性は</p> <p>1 田んぼダムの検証について</p> <p>(1) 今回の集中豪雨災害を受け、効果について</p> <p>(2) 田んぼダムの運用について</p> <p>(3) 今後の活用法について</p> <p>2 市道の管理について</p> <p>(1) 地下埋設管の管理について</p> <p>(2) 市道改良と工事の時期について</p> <p>(3) 地下埋設の指導について</p> <p>3 公立幼稚園の運営について</p> <p>(1) 来年の入園希望者数と、定数の充足率について</p> <p>(2) 今後の公立幼稚園の在り方について</p> <p>(3) 幼保一元化施設の在り方について</p>
21	11	佐藤仁一郎	<p>1 集会所管理の方向性について</p> <p>(1) 指定管理を受けている集会所において民営化推進の方向が示されているが、その進捗状況を伺う</p> <p>(2) 集会所の整備計画を把握するとしているが、その内容を伺う</p> <p>(3) 地域譲渡への方向性を伺う</p> <p>2 小学校統合の方向性について</p> <p>(1) 来年開校する大崎市立古川西小中学校は、小中一貫校となったが、一貫校として開校するに至った経緯と効果について伺う</p> <p>(2) 今後統合が計画されている他地区の小学校でも、一貫校としていくのか、伺う</p> <p>3 教員の働き方改革について</p> <p>(1) 教員の働き方改革に向けた本市の取組を伺う</p>
22	3	小玉仁志	<p>1 駅等公共交通機関を含むパブリックスペースの活用策について</p> <p>(1) 古川駅商業施設等の活用に向けた支援策について</p> <p>(2) 陸羽東線の経営状況を受けて、各駅を巻き込んだ振興策について</p> <p>2 大崎市の持続的な畜産経営の在り方について</p> <p>(1) 現在の畜産コスト高騰における対策について</p> <p>(2) 持続的な畜産経営を支援する市独自の対策はあるか</p> <p>3 市街地の内水対策について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			(1) 内水ハザードマップの周知策について (2) 地域住民の災害対応力の向上について (3) 地域住民が関わることのできる市独自の河川管理の アイデアについて	